



所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画

概要版

2020年6月
所沢市

1. はじめに

▶ 計画の目的

所沢市水とみどりがつくるネットワーク計画（以下「本計画」という。）は、所沢市にある豊かな水とみどりを、未来の子どもたちに引き継ぐとともに、まちのにぎわいや魅力とつなぎ、その豊かな恵みを楽しむことができる「水とみどりがつくるネットワーク」をつくりあげる計画です。

所沢市の魅力となる水とみどりを、COOL JAPAN FOREST 構想や中心市街地の活性化など、にぎわいある都市づくりと連携させていきます。そして計画を推進することにより、人々が地域のみどり・歴史・文化に触れ、感じることで、新たな人の流れが生み出され、その相乗効果として、地域産業の活性化や文化の広域的な交流、所沢ブランド向上等の原動力となることを目的とします。

貴重なみどりを未来につなげる

所沢ブランドの向上

まちの活性化とにぎわいの創出

▶ 計画の期間

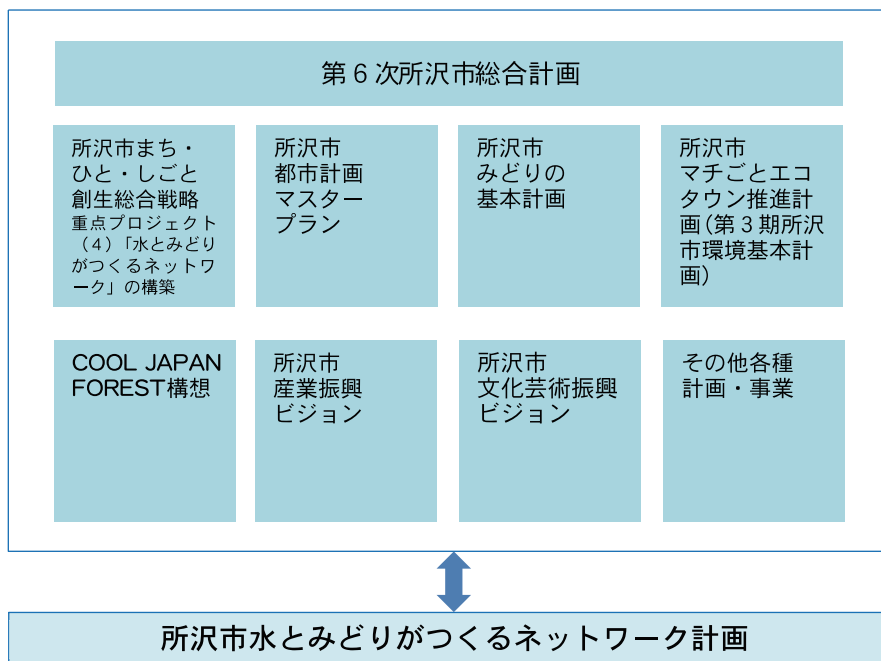
本計画の計画期間は、令和10年度までの10年間とします。

▶ 計画の位置づけ

本計画は「第6次所沢市総合計画」を上位計画とし、「所沢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」、「所沢市都市計画マスタープラン」、「所沢のみどりの基本計画」等に示す「水とみどりがつくるネットワーク」を具体的に示す計画として策定します。

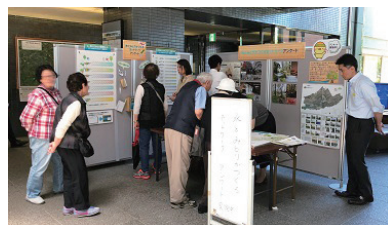
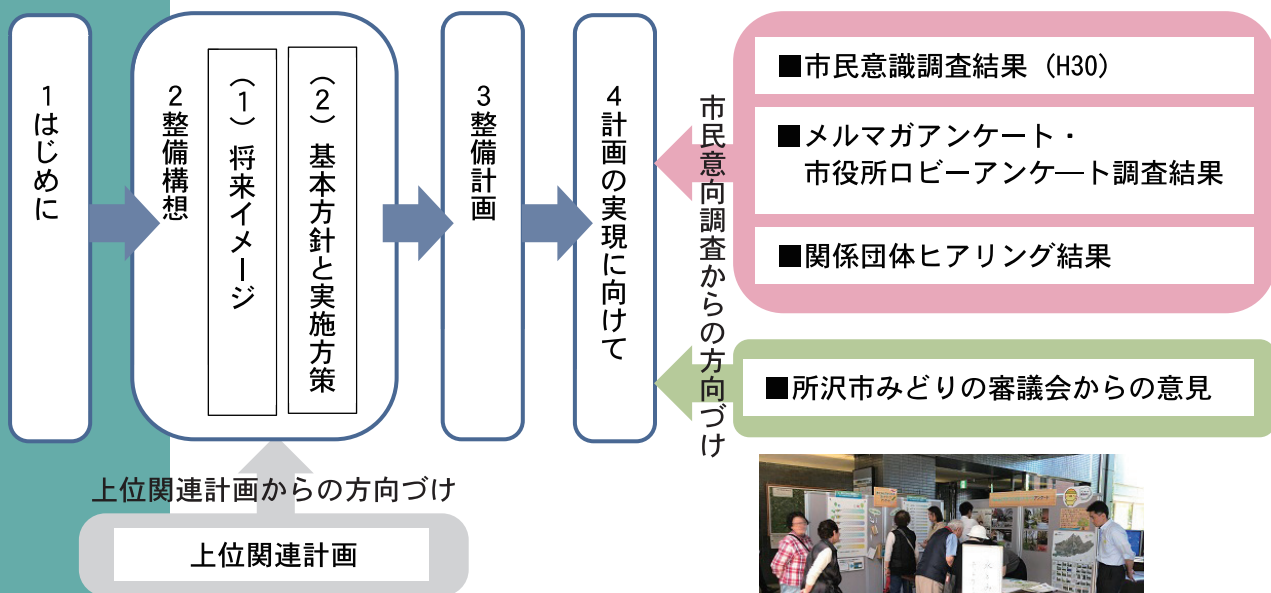


狭山丘陵から市街地を望む



▶ 計画のフロー

上位計画、市民意向調査等からの方向づけをもとに、計画のフローを整理します。



意向調査風景

2. 整備構想

▶ 将来イメージ

所沢市は、貴重な水やみどりが多くの市民との協働により守られ、水やみどりの豊かさ、美しさを感じることができるまち。

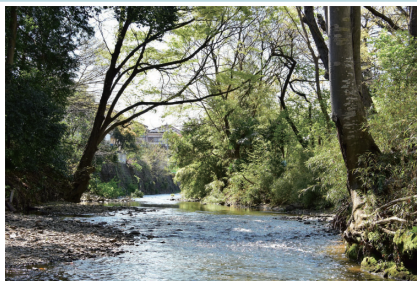
健康を意識して、歩くことを大切にしたいまち。

お店や事業所、産業団地などで、働く人の姿を見ることができ、休日にはカルチャーパークで自然に親しみ、ところざわサクラタウンで文化にふれ、所沢駅周辺でにぎわいを楽しむなど、様々な楽しみに出会えるまち。

大人は子どもたちのいきいきとした成長を見守り、おじいさんおばあさんとともに生きがいを持って住まうまち。

水とみどりがつくるネットワークの構築により、将来を見据えた持続可能なまちのモデルを目指しています。

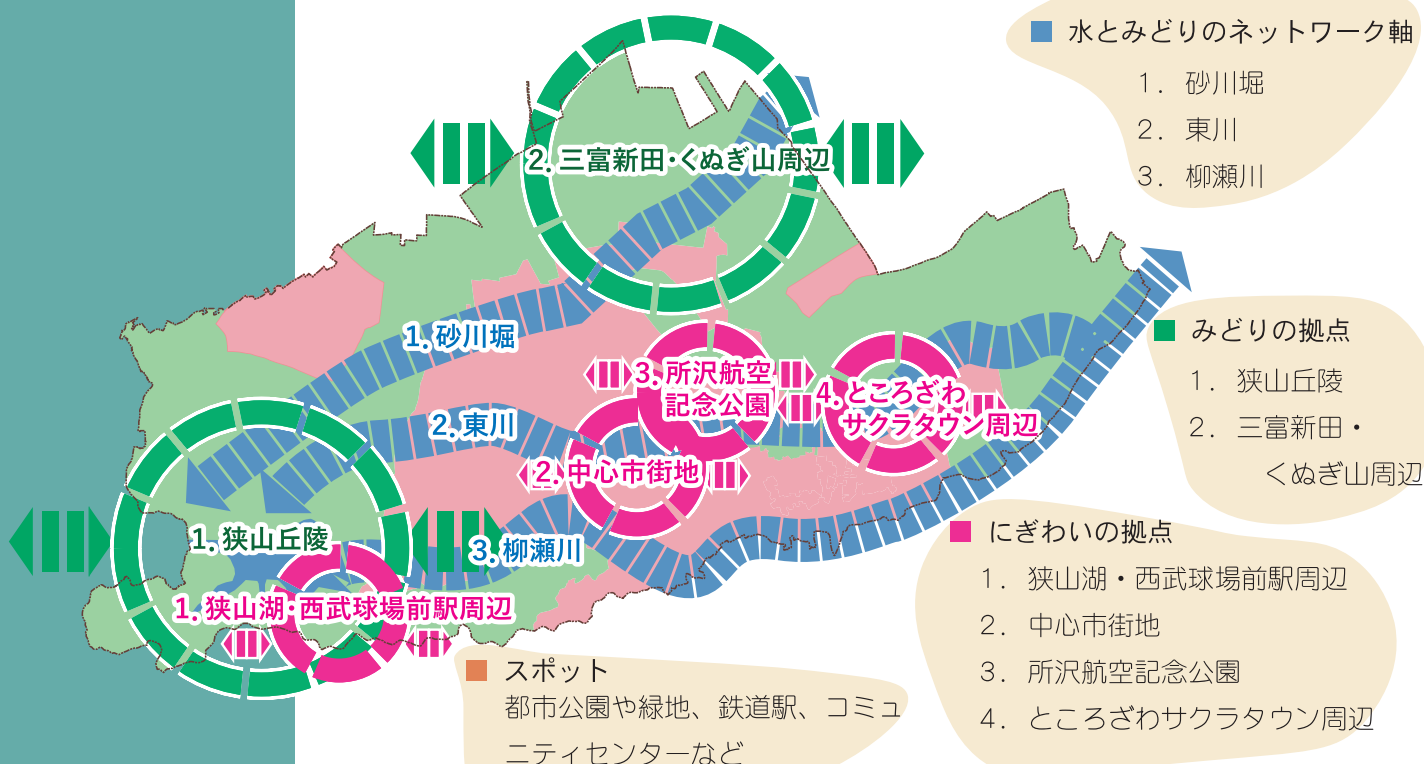
さあ、所沢のみどりを歩こう！



▶ 拠点・軸における将来イメージ

「水とみどりがつくるネットワーク」の構築を目指し、所沢市の貴重な水辺やみどり、多くの人が集まる空間を、「水とみどりのネットワーク軸」、「みどりの拠点」、「にぎわいの拠点」、「スポット」に位置づけ、それぞれの特性に応じた取り組みを進めます。

ここでは、それぞれの空間でネットワークを強化するための「テーマ」と、現在から未来へとつながる「魅力の構築」を描きます。



砂川堀

水とみどりのネットワーク軸 1 砂川堀

ネットワークのテーマ

水やみどりの美しさを知り、大切さを感じる

砂川堀エコロジカル・ネットワーク

砂川堀はみどり豊かな狭山丘陵、クロスケの家、ひまわり畑や茶畑などをむすぶのどかな河川です。また、自然のまま蛇行する川の流れや河畔林などの貴重な自然が残されています。砂川堀では、そこに生きる大切な生きものの生息・生育環境に最大限に配慮しながら、自然を知り、親しむ環境づくりを進めます。



《魅力の構築》

□今の姿

- 水とみどりを守る
- 鳥や虫たち、生きものを知る自然観察
- 参加型！維持管理・美化活動

★未来に向けて

- ★トトロの森めぐり
- ★砂川堀を楽しむ散策路の整備
- ★多自然川づくり
- ★みどりの専門家に学ぶガイドツアー



東川

水とみどりのネットワーク軸 2 東川

ネットワークのテーマ

所沢市の魅力をつなぐ、水辺のメイン・ストリート



東川はみどり豊かな狭山丘陵から所沢市の中心市街地、所沢航空記念公園、ところざわサクラタウンなど、所沢市の魅力となる地域を貫流するとともに、大部分の区間で川沿いを歩くことができる河川です。多くの人々が集う空間が、東川の桜並木や緑陰、四季の花々、魅力的なお店やカフェなど楽しい空間でつながれた、水辺のメイン・ストリートをつくります。



《魅力の構築》

□今の姿

- さくらまつりなどのイベント
- 市民と協働で維持管理する桜並木
- バーベキューやキャンプ

★未来に向けて

- ★水辺のメイン・ストリート
- ★まちなかの憩い空間
- ★ところざわサクラタウンから所沢航空記念公園へ！
- ★観光施設や飲食店とネットワーク



柳瀬川

水とみどりのネットワーク軸 3 柳瀬川

ネットワークのテーマ

歴史や文化にゆかりのみどりと水辺の交流ネットワーク

柳瀬川は狭山丘陵を源として、市の南部を流れている河川ですが、空堀川の合流点から上流は川に近づく場所が淵の森など一部に限られています。このため、荒幡富士や八国山など柳瀬川に面した丘陵部の豊かなみどりを活かした歩く環境づくりを進めます。また、下流部は段丘崖となり所沢市独自の景観を形成しているほか、東京都側でも緑の回廊を整備しており、周辺自治体と連携を図りながら水やみどりをつなぐ環境づくりを進めます。

《魅力の構築》

□今の姿

- 多様なみどりを守る
- 鳥や虫たち、生きものを知る自然観察
- 参加型！維持管理・美化活動



★未来に向けて

- ★荒幡富士やトトロゆかりの森めぐり
- ★周辺の自治体ともネットワークした水辺の楽しみ空間



狭山丘陵

みどりの拠点 1 狭山丘陵

ネットワークのテーマ

花やみどり、鳥や虫たちの声を聴く、
豊かなみどりのネットワーク

狭山丘陵は、樹林地や湿地、農地など多様な環境を有し、多くの生きものが生息する地域を代表する豊かなみどりです。このみどりを守りながら、人々がみどりに親しむ環境づくりを進めます。

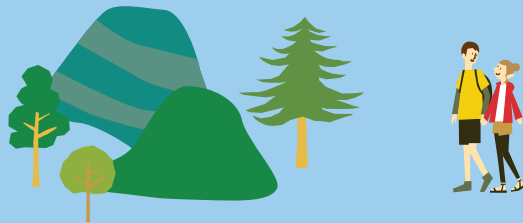
□今の姿

《魅力の構築》

- 狭山丘陵を守る
- みどりの専門家に学ぶガイドツアー
- 参加型！維持管理・美化活動

★未来に向けて

- ★狭山丘陵周遊散策路
- ★比良の丘で天空イベント
- ★ハイキングなどのアウトドア活動
- ★フルーツ狩りや茶摘み体験
- ★里山の暮らしを体験！



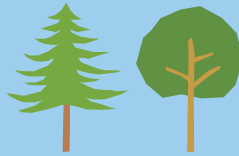
三富新田・くぬぎ山周辺

みどりの拠点2 三富新田・くぬぎ山周辺

ネットワークのテーマ

武蔵野樹林とどこまでも広がる農地、
その豊かな恵みのネットワーク

通称「くぬぎ山」などの平地の雑木林やそれに続く三富新田などの農村地域は、江戸時代の開拓地割跡が残された、武蔵野の面影を残す地域です。このみどりを守るとともに、農業体験、里山の維持管理活動など、人々が農に親しむ環境づくりを進めます。



《魅力の構築》

□今の姿

- 三富新田・くぬぎ山周辺のみどりを守る
- 農業体験・里山体験
- 参加型！維持管理・美化活動

★未来に向けて

★地場産農産物を使ったグルメ



狭山湖・西武球場前駅周辺

にぎわいの拠点1 狭山湖・西武球場前駅周辺

ネットワークのテーマ

狭山湖の絶景とスポーツ・
レクリエーションのネットワーク

野球場を中心としたレジャー施設が集積する西武球場前駅周辺は、多くの人々が集いにぎわう地域です。狭山湖や多摩湖など周辺のみどりとの連携を強化し、にぎわいの拠点の充実とみどりをつなぐ環境づくりを進めます。



《魅力の構築》

□今の姿

- 狭山湖の絶景



★未来に向けて

- ★狭山湖周遊散策路
- ★狭山湖ふれあい橋の整備
- ★狭山湖サイクリングやウォーキングを楽しめるスポーツ活動拠点
- ★プロスポーツやレジャー施設と連携した狭山湖周辺の魅力アップ作戦
- ★マルシェやアウトドアイベント



中心市街地

にぎわいの拠点 2 中心市街地

ネットワークのテーマ

所沢市の表玄関のにぎわいと歴史・文化、まちなかの
魅力のネットワーク

中心市街地は、歴史的にまちの中心として発展し、商業施設などが集積する地域です。既存の都市機能の活性化に努めるとともに、現在進行中の所沢駅西口地区のまちづくり等による機能強化を図りながら、ネットワークの核となり、周辺地域と都市の魅力をつなぐ環境づくりを進めます。



《魅力の構築》

□今の姿

□歴史・文化資源を活かしたまちづくり

★未来に向けて

★オープンスペースはみどりに！

★みどりの街並みとベンチや緑陰のある空間づくり

★東川の水辺空間の活用

★まちなかの歩行ネットワークの構築

★ご当地グルメや飲食店との連携

★にぎわいを生む旧市役所庁舎跡地等の活用



所沢航空記念公園

にぎわいの拠点 3 所沢航空記念公園

ネットワークのテーマ

所沢市の魅力の発信拠点

市のシンボルとなるみどりのネットワーク

所沢航空記念公園は、市民のみならず周辺自治体からも多くの人々が訪れ、憩いやレジャー、健康づくりなど、思い思いに過ごすことのできる空間です。所沢航空記念公園の発信力を活かし、みどりと都市をつないでいきます。



□今の姿

《魅力の構築》

□所沢航空記念公園のある暮らし

□「航空発祥の地 所沢」のPR

□所沢市の魅力のPRと野外文化の実践！

□自然観察や緑化活動、水とみどりの情報を発信

★未来に向けて

★ところざわサクラタウンとのネットワーク！



ところざわ サクラタウン周辺

にぎわいの拠点 4 ところざわサクラタウン周辺

ネットワークのテーマ

COOL JAPAN FOREST 構想の発信拠点

新たなにぎわいがつくるネットワーク

所沢市と株式会社 KADOKAWA との共同プロジェクト COOL JAPAN FOREST 構想により、ところざわサクラタウンを中心とした、みどり、文化、産業が調和した、誰もが住んでみたい、訪れてみたい環境づくりを進めます。



《魅力の構築》

★未来に向けて

- ★COOL JAPAN FOREST 構想の展開
- ★美しい緑化空間とアートなどで景観づくり
- ★家族との時間や気ままな散策
- ★マルシェで魅力の PR
- ★水とみどりの情報を発信



スポット

スポット

スポットは、みどりの拠点やにぎわいの拠点を結ぶ、水とみどりのネットワーク軸上に点在する都市公園や緑地、鉄道駅、コミュニティセンターなどです。その場所の特性に応じ、水とみどりのスポット及びコミュニティスポットを以下のように位置づけます。

＜水とみどりのスポット＞

都市公園や保全した緑地、トトロの森などのトラスト地、緑化施設、並木などを水とみどりのスポットとし、みどりの保全を基本としつつ、その空間に応じた身近に水やみどりと親しむことができる環境づくりを進めるとともに、散策のための休憩や情報発信の場として活用します。

＜コミュニティスポット＞

市内公共施設や鉄道駅など人々が集う施設をコミュニティスポットとし、その空間に応じて、散策のための休憩や情報発信の場として活用します。



★未来に向けて 《魅力の構築》

- ★身近なみどり空間の確保
- ★親水空間の形成
- ★市民との協働によるみどりの維持管理
- ★まちなかの緑化と花のまちづくり



★未来に向けて

- ★歴史・文化資源の活用
- ★コミュニティ活動の展開
- ★サインの設置
- ★飲食店との連携強化
- ★周辺施設との協力による休憩スペース



基本方針と

実施方策

前項で掲げた将来イメージを実現するため、5つの基本方針を定め、それに則り、各拠点やネットワーク軸で取り組みを進めます。取り組みの内容は「実施方策」として、基本方針ごとに整理します。実施方策は、水やみどり分野のみならず多分野にわたっていることから、関係各課の持つ関連事業をひもづけます。

本計画にひもづけられた関連事業を、「みどりトコトコ・プロジェクト」と呼び、相互に連携しながら、水とみどりがつくるネットワークの構築を目指します。

基本方針1 水とみどりを守る

基本方針2 にぎわいを生み出す

基本方針3 みどりとにぎわいをつなぐ

基本方針4 みどりを歩く・楽しむ

基本方針5 魅力を発信する

「水とみどりがつくるネットワーク」基本方針の構成

基本方針1 水とみどりを守る

生きものに配慮し、水とみどりを守ろう・活かそう



所沢市みどりの基本計画に基づき、水辺やみどりを保全し、生きものの生息・生育環境に配慮するとともに、花とみどりのまちづくりを進めます。

実施方策の方向性	実施方策
1. 貴重な水とみどりの保全を進めよう	1-1-1 貴重な水辺やみどりの計画的な保全 1-1-2 市民との協働による樹林地等の維持管理活動
2. 貴重な生きものの生息・生育環境に配慮しよう	1-2-1 生物多様性地域戦略に基づく計画的な取り組み 1-2-2 砂川堀など河川整備における多自然川づくり 1-2-3 市民との協働による自然観察活動
3. マチごとエコタウン・所沢流で花とみどりのまちをつくらう	1-3-1 市街地におけるみどりの確保 1-3-2 公共施設の緑化の推進 1-3-3 市民との協働によるみどりや花のまちづくり 1-3-4 豊かな自然を生かした子育て環境づくり

基本方針2 にぎわいを生み出す

都市のにぎわいの拠点を創出、活性化しよう



狭山丘陵、中心市街地、所沢航空記念公園、ところざわサクラタウンなど、人々が集まる空間を、水辺やみどりとつなぐことにより、人々の往来とにぎわいを生み出します。

実施方策の方向性	実施方策
1. 狭山丘陵・西武球場前駅周辺のにぎわいをつくらう	2-1-1 狭山丘陵の魅力の発掘・向上 2-1-2 狭山湖を周遊できる散策路やサイクリングコースの整備 2-1-3 狭山丘陵のみどりに親しむイベントやガイドツアー 2-1-4 プロスポーツとの連携推進 2-1-5 周辺自治体との協力による狭山丘陵エリア全体の魅力の向上
2. 中心市街地のにぎわいをつくらう	2-2-1 中心市街地へ人呼び込む都市機能の誘導 2-2-2 中心市街地の歩行導線の確保 2-2-3 歴史や文化を活かしたまちづくりの展開
3. 所沢航空記念公園のにぎわいをつくらう	2-3-1 市のシンボルとなる公園づくり 2-3-2 「航空発祥の地 所沢」のPR 2-3-3 ところざわサクラタウンへと結ぶ散策路の整備 2-3-4 所沢航空記念公園におけるみどりの市民活動
4. ところざわサクラタウンを中心としたにぎわいをつくらう	2-4-1 COOL JAPAN FOREST 構想の推進 2-4-2 ところざわサクラタウンへの玄関口となる空間の充実 2-4-3 ところざわサクラタウンへの歩行空間の整備 2-4-4 所沢市の魅力資源との連携強化

基本方針3 みどりとにぎわいをつなぐ

歩くことを基本に、みどりと都市のにぎわいをつなげよう

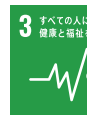


水とみどりを主体とした散策路の整備や歩行者、自転車などの通行環境を整えることにより、水とみどり、都市のにぎわいをつないでいきます。

実施方策の方向性	実施方策
1. 水とみどりがつくるネットワークをつくらう	3-1-1 水とみどりの散策路の整備 3-1-2 水辺のスポットの整備 3-1-3 みどりのスポットの整備
2. ベンチやトイレ、サインなど、歩く環境をととのえよう	3-2-1 歩く環境の整備 3-2-2 交通安全対策
3. 自転車や公共交通の環境をととのえよう	3-3-1 自転車による回遊性の向上 3-3-2 地域公共交通等を活用した回遊性の向上

基本方針4 みどりを歩く・楽しむ

健幸長寿を目指し、みどりを歩こう・楽しもう



所沢市の豊かな水とみどり、歴史や文化、都市のにぎわいを歩き、実際に体験することで、多くの人に楽しんでもらう機会を創出し、所沢ならではのブランド力を高めていきます。

実施方策の方向性	実施方策
1. 健幸長寿を目指し、みどりを歩こう	4-1-1 みどりを歩く機会や仕組みの充実
2. 狭山丘陵をはじめとするみどりの魅力を高めよう（みどりの体験）	4-2-1 みどりのガイドツアーなど、市民との協働による自然体験の機会の充実 4-2-2 狭山丘陵の魅力を発掘・向上 4-2-3 ところざわサクラタウンをハブとした観光PRやツアー
3. 農産物や食の魅力を高めよう（農作業・食の体験）	4-3-1 狭山茶など、所沢ブランドの創出・活用 4-3-2 農業・里山体験の機会の充実と所沢カルチャーパークの整備 4-3-3 食をテーマとしたイベント・取り組み
4. みどりと文化のまちの魅力を高めよう（所沢文化の体験）	4-4-1 所沢ならではの文化の創出・充実 4-4-2 歴史や文化資源の整備・活用 4-4-3 人が集まるまちづくりイベントの実施
5. 観光客の受け入れ環境を充実させよう	4-5-1 観光客の受け入れ環境の充実

基本方針5 魅力を発信する

水とみどりがつくるネットワークを広げよう



様々な手段を用いてPRすることにより、水とみどりがつくるネットワークを広げていきます。

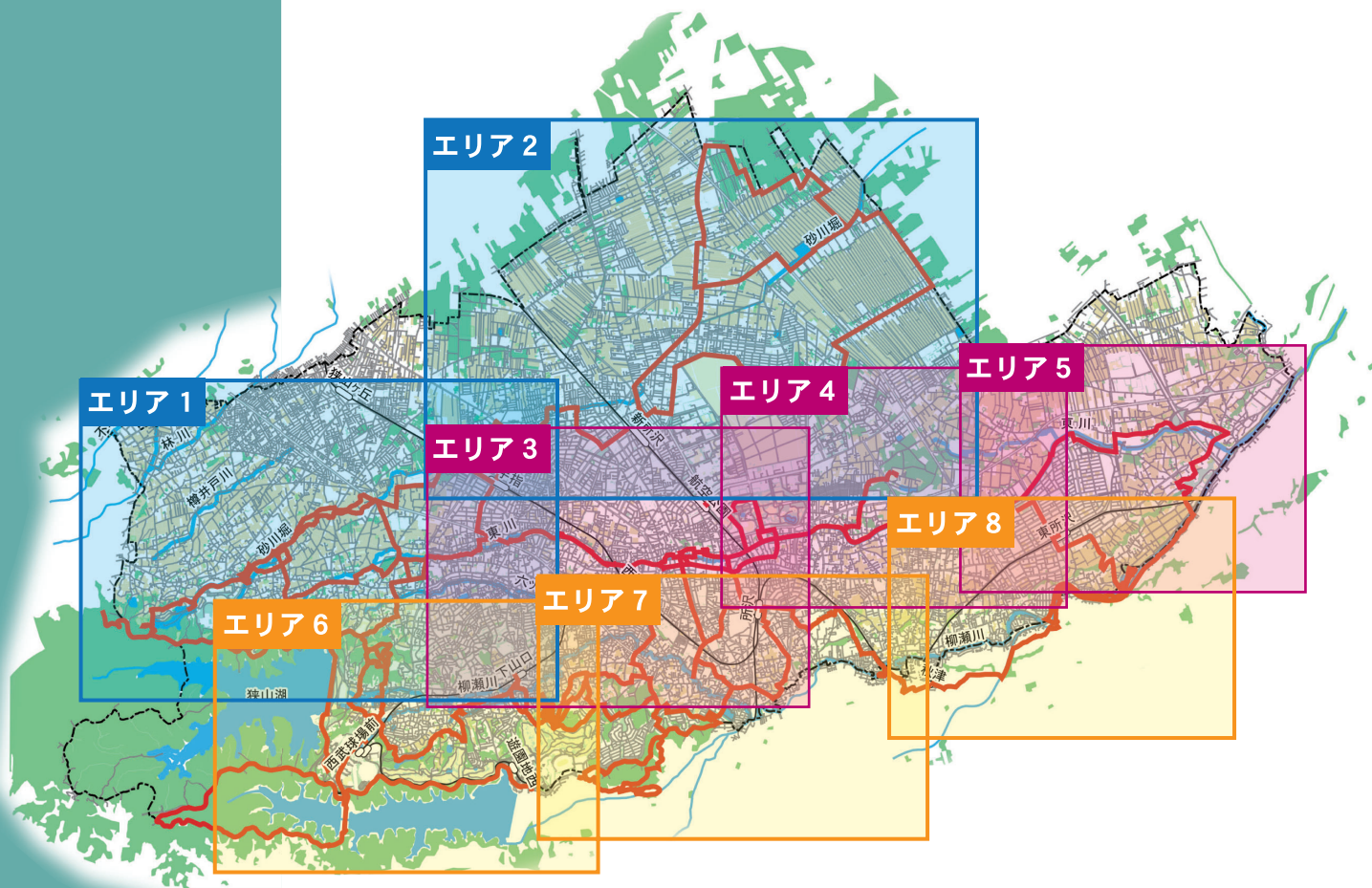
実施方策の方向性	実施方策
1. 水とみどりがつくるネットワークをPRしよう	5-1-1 多様なメディアへの積極的な情報発信 5-1-2 散策路マップの整備・活用 5-1-3 SNS等を活用した情報発信
2. 広域連携によりPRしよう	5-2-1 広域連携によるPR



3. 整備計画

整備計画

「水とみどりがつくるネットワーク」を構築するため、市内を以下の8つのエリアに区分し、それぞれに整備計画を策定します。



- エリア1 砂川堀と東川のせせらぎが生まれる森のエリア
- エリア2 砂川堀の下流部、農地と平地林がつながるエリア
- エリア3 東川をたどり食と歴史を歩くまちなかエリア
- エリア4 東川さくらウォークエリア
- エリア5 東川と柳瀬川、歴史の合流点を歩くエリア
- エリア6 森と湖を歩くみどりのふれあいエリア
- エリア7 八国山・かみの山など豊かなみどりを歩くエリア
- エリア8 柳瀬川の水とみどりを歩くエリア

— 整備ルート

整備ルートと整備計画図



整備カルテ エリア 1

砂川堀と東川のせせらぎが生まれる森のエリア

エリアの状況と方向性

本エリアは、砂川堀および東川上流と、その源流となる狭山丘陵を含むエリアです。砂川堀は自然河岸や河畔林が残され、周辺に農地の広がるみどり豊かな水辺であることから、その環境の保全を基本に、整備ルートづくりを進めます。源流となる狭山丘陵部は、埼玉県を設置するさいたま緑の森博物館など、みどりにふれあう拠点となる施設を有しており、これまでに保全してきた里山保全地域などとともに、みどりとふれあいを主とした魅力向上を図ります。砂川堀・東川・狭山丘陵を歩く整備ルートの設定に際し、公益財団法人トトロのふるさと基金の施設で、海外からも人気の高いクロスケの家や比良の丘、ひまわり畑など、魅力的な施設と協力しながら、自然の豊かさを実感できるような整備ルートとなるよう歩く環境づくりに努めます。

実施方策

基本方針 1	1-1-1 貴重な水辺やみどりの計画的な保全 1-1-2 市民との協働による樹林地等の維持管理活動 1-3-3 市民との協働によるみどりや花のまちづくり
基本方針 2	2-1-1 狭山丘陵の魅力の発掘・向上 2-1-2 狭山湖を周遊できる散策路の整備 2-1-5 周辺自治体との協力による狭山丘陵エリア全体の魅力の向上
基本方針 3	3-1-1 水とみどりの散策路の整備 3-1-2 水辺のスポットの整備 3-1-3 みどりのスポットの整備 3-2-1 歩く環境の整備
基本方針 4	4-1-1 みどりを歩く機会や仕組みの充実 4-2-2 狭山丘陵の魅力の発掘・向上 4-4-2 歴史や文化資源の整備・活用



整備カルテ エリア 2

砂川堀の下流部、農地と平地林がつながるエリア

エリアの状況と方向性

本エリアは、砂川堀の市内下流部にある三富新田などの農地が広がるエリアであり、また、それらと一体となるくぬぎ山等の平地林が残るエリアです。薪や落ち葉を畑に利用したくぬぎ山などの平地林は武蔵野の面影を色濃く残し、それにつながる三富新田などの農村地域は、屋敷地・畑地・平地林の順に短冊形に細長く区画された江戸時代の開拓地割跡がそのまま残されています。武蔵野の落ち葉堆肥農法は日本農業遺産にも認定されており、歴史的にも貴重なみどりとして、その保全を図ります。また、現在も農業生産の盛んな地域であることから、歴史的背景も含めた農業体験や里山体験、農産物を活かした食の体験などの機会の充実を図ります。

実施方策

基本方針 1	1-1-1 貴重な水辺やみどりの計画的な保全
基本方針 3	3-1-2 水辺のスポットの整備 3-1-3 みどりのスポットの整備 3-2-1 歩く環境の整備
基本方針 4	4-3-1 狭山茶など、所沢ブランドの創出・活用 4-3-2 農業・里山体験の機会の充実と所沢カルチャーパークの整備 4-4-2 歴史や文化資源の整備・活用



エリアの状況と方向性

本エリアは、東川中流部で、中心市街地や所沢航空記念公園を含む所沢市の中心的なエリアです。東川は北野天神社付近より下流の大部分は現状でも川沿いの歩行が可能であることから、水辺の環境の保全を図りつつ、歩きやすい整備ルートづくりを進めます。

中心市街地は、現在進められている所沢駅西口地区等の市街地整備を進めるとともに、東川沿いを中心に残る旧町の歴史・文化資源や食を楽しむスポットを活用しながら、歩行者空間と中心市街地の魅力と活力の向上を図ります。

所沢航空記念公園は所沢市最大の公園であり、中心市街地に近接することから、中心市街地からの歩行者ルートを確認しながら連携と活用を図ります。

実施方策

基本方針 1	1-1-1 貴重な水辺やみどりの計画的な保全
基本方針 2	2-2-1 中心市街地へ人を呼び込む都市機能の誘導 2-2-2 中心市街地の歩行導線の確保 2-2-3 歴史や文化を活かしたまちづくりの展開 2-3-1 市のシンボルとなる公園づくり
基本方針 3	3-1-1 水とみどりの散策路の整備 3-1-3 みどりのスポットの整備 3-2-1 歩く環境の整備
基本方針 4	4-3-3 食をテーマとしたイベント・取り組み 4-4-2 歴史や文化資源の整備・活用 4-4-3 人が集まるまちづくりイベントの実施



エリアの状況と方向性

本エリアは、東川中流から下流部で、ところざわサクラタウンや所沢航空記念公園を含む東川整備の中心的なエリアです。

東川は現状でも大部分に桜並木が植栽され、また川沿いの歩行が可能であり、さらに加美橋より下流は、歩行者向けの道が大部分を占めていることから、水辺の環境の保全を図りつつ、歩きやすい整備ルートづくりを進めます。

ところざわサクラタウンは、現在進められている整備を進めるとともに、東川と連携しながら、所沢市の情報発信・観光拠点として活用を図ります。

所沢航空記念公園は所沢市最大の公園であり、ところざわサクラタウンと中心市街地を結びつける施設として活用を図ります。

実施方策

基本方針 1	1-1-1 貴重な水辺やみどりの計画的な保全
基本方針 2	2-3-1 市のシンボルとなる公園づくり 2-4-1 COOL JAPAN FOREST 構想の推進 2-4-2 ところざわサクラタウンへの玄関口となる空間の充実 2-4-3 ところざわサクラタウンへの歩行空間の整備 2-4-4 所沢市の魅力資源との連携強化
基本方針 3	3-1-1 水とみどりの散策路の整備 3-1-2 水辺のスポットの整備 3-2-1 歩く環境の整備
基本方針 4	4-3-2 農業・里山体験の機会の充実と所沢カルチャーパークの整備 4-4-2 歴史や文化資源の整備・活用



エリアの状況と方向性

本エリアは、東川下流部と柳瀬川の合流点付近で、ところざわサクラタウンや滝の城址公園を含むエリアです。
 東川は現状でも大部分に桜並木が植栽され、また川沿いの歩行が可能な区間も多いことから、水辺の環境の保全を図りつつ、歩きやすい整備ルートづくりを進めます。
 柳瀬川については、既に整備されている清瀬市側の柳瀬川回廊との連携を図ります。
 ところざわサクラタウンは、現在進められている整備を進めるとともに、東川と連携しながら、所沢市の情報発信・観光拠点として活用を図ります。
 滝の城址公園は、みどり豊かな市の東部の拠点的な公園として活用を図ります。

実施方策

基本方針 2	2-4-1 COOL JAPAN FOREST 構想の推進 2-4-2 ところざわサクラタウンへの玄関口となる空間の充実 2-4-3 ところざわサクラタウンへの歩行空間の整備 2-4-4 所沢市の魅力資源との連携強化
基本方針 3	3-1-1 水とみどりの散策路の整備 3-1-2 水辺のスポットの整備 3-2-1 歩く環境の整備
基本方針 4	4-4-2 歴史や文化資源の整備・活用
基本方針 5	5-1-2 散策路マップの整備・活用

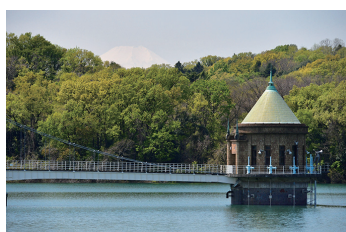


エリアの状況と方向性

本エリアは、狭山丘陵を中心に柳瀬川の上流を含むエリアです。
 狭山丘陵は所沢市の最も重要な緑地であり、狭山湖や県立狭山自然公園、荒幡富士と狭山丘陵いきものふれあいの里センターなどのみどりにふれあう拠点施設、みどりの保全を重点的に進める各里山保全地域などとともに、みどりのふれあいを主とした魅力向上と整備ルートづくりについて、周辺自治体との連携を図りながら推進します。また、西武球場前駅周辺や西武園ゆうえんちなどの施設については、市西部のにぎわいの拠点として活用を図ります。
 本エリア内の柳瀬川は上流部の水辺に近づく場所の活用を図るとともに、それ以外の水辺に近づけない区間については、柳瀬川に面した狭山丘陵を活用して整備ルートの歩く環境づくりに努めます。

実施方策

基本方針 1	1-1-1 貴重な水辺やみどりの計画的な保全 1-1-2 市民との協働による樹林地等の維持管理活動
基本方針 2	2-1-1 狭山丘陵の魅力の発掘・向上 2-1-2 狭山湖を周遊できる散策路の整備 2-1-4 プロスポーツとの連携推進 2-1-5 周辺自治体との協力による狭山丘陵エリア全体の魅力の向上
基本方針 3	3-1-3 みどりのスポットの整備 3-2-1 歩く環境の整備
基本方針 4	4-1-1 みどりを歩く機会や仕組みの充実 4-2-2 狭山丘陵の魅力の発掘・向上 4-4-2 歴史や文化資源の整備・活用



エリアの状況と方向性

本エリアは、狭山丘陵の東端部と柳瀬川の中流部を含むエリアです。
 狭山丘陵の東端部は鳩峯公園や八国山緑地などの施設緑地を活用した、みどりとのふれあいを主とした魅力向上と整備ルートづくりについて、周辺自治体との連携を図りながら推進します。
 本エリア内の柳瀬川は水辺にふれあうことのできる淵の森について、かみの山とともに保全・活用を図るとともに、それ以外の水辺に近づけない区間については、柳瀬川に面した狭山丘陵を活用して整備ルートの歩く環境づくりに努めます。

実施方策

基本方針 1	1-1-1 貴重な水辺やみどりの計画的な保全
基本方針 2	2-1-5 周辺自治体との協力による狭山丘陵エリア全体の魅力の向上 2-2-1 中心市街地へ人を呼び込む都市機能の誘導 2-2-2 中心市街地の歩行導線の確保
基本方針 3	3-1-3 みどりのスポットの整備 3-2-1 歩く環境の整備
基本方針 4	4-2-2 狭山丘陵の魅力の発掘・向上 4-3-3 食をテーマとしたイベント・取り組み 4-4-2 歴史や文化資源の整備・活用



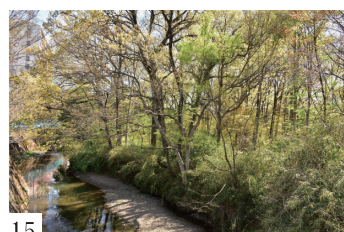
エリアの状況と方向性

本エリアは、柳瀬川の中流部を中心としたエリアです。
 本エリア内の柳瀬川は、清瀬市の柳瀬川回廊、淵の森については東村山市側との連携を図りながら、秋津駅を起点とした整備ルートの歩く環境づくりに努めます。



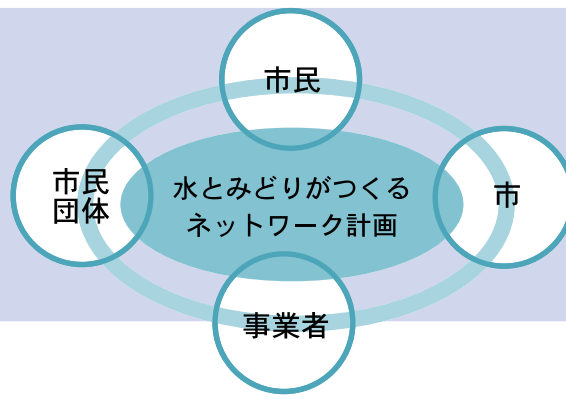
実施方策

基本方針 1	1-1-1 貴重な水辺やみどりの計画的な保全
基本方針 2	2-4-1 COOL JAPAN FOREST 構想の推進 2-4-2 ところざわサクラタウンへの玄関口となる空間の充実 2-4-3 ところざわサクラタウンへの歩行空間の整備 2-4-4 所沢市の魅力資源との連携強化
基本方針 3	3-1-1 水とみどりの散策路の整備 3-1-2 水辺のスポットの整備 3-2-1 歩く環境の整備
基本方針 4	4-4-2 歴史や文化資源の整備・活用
基本方針 5	5-1-2 散策路マップの整備・活用



4. 計画の実現に向けて

▶ 多様な主体による 計画の推進



本計画は、水・みどり分野のみならず市、市民、市民団体、事業者など、多くの主体による取り組みが必要となります。関連事業を通じ協力をお願いするとともに、様々な機会を通じ本計画の周知・PRを図り、参画する主体を増やしていく取り組みを行います。

▶ 庁内の推進体制

本計画の推進にあたり、庁内に事務局及び関係各課で組織する庁内調整会議（みどりトコトコ・プロジェクト会議）を設置します。

会議では、個別の事業をそれぞれに実施するだけでなく、水とみどりがつくるネットワークを構築するという共通の将来像を関係者で共有し、複数の事業を複合的に動かし、連携しながら一体的に取り組みます。



▶ PDCA サイクルによる 進行管理



本計画の将来像を実現するためには、関連事業を着実に推進し、定期的な進行管理を行うことが重要です。このため、計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Act）のPDCAサイクルによる進行管理を行い、計画の実効性を高めます。

▶ SDGs へ貢献

本計画においては、特に、目標3「すべての人に健康と福祉を」、目標6「安全な水とトイレを世界中に」、目標8「働きがいも経済成長も」、目標11「住み続けられるまちづくりを」、目標13「気候変動に具体的な対策を」、目標15「陸の豊かさを守ろう」、目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」の7つの個別目標の達成に寄与するための取り組みを進めていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs

Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)は、17の目標と169のターゲットから構成されています。SDGsは、世界中の人々が一緒になってより良い世界をつくるため、同じ目標を見据え、それぞれがどのような側面から貢献していくのかをわかりやすくしたものだといえます。

ブラチスラバ市（スロバキア共和国）との国際都市間協力プロジェクトにより、SDGsへの貢献や、地球温暖化に関するパリ協定の達成を目指しています。



お問い合わせ

所沢市 環境クリーン部 みどり自然課

住所：〒359-8501 所沢市並木一丁目1番地の1 高層棟5階

電話：04-2998-9373 FAX：04-2998-9195 e-mail：a9373@city.tokorozawa.lg.jp